

基本情報						
教科・科目		理科・理科2（生物学）	・授業で使用するもの ① 教科書 学校図書『中学校 科学2』（第2節） 『中学校 科学3』（第2節） ② 資料集 新学社『グラフィック理科資料集』 ③ 問題集 教育開発出版『中学の生物』 ④ 授業プリント ⑤ iPad （主に実験の記録をする際に使用）			
担当者		青島 諒太郎				
評価割合（試験：試験外）		試験：5（50％） 試験外：5（50％）	定期試験は、理科1 50点、理科2 50点 の計100点満点で実施する。 試験外評価については、小テストや実験レポート、プレゼンテーション等で評価する。			
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）	単元で扱う科学的事象や考え方を理解するための土台となる基本知識を理解することができる力。			
		理知（思考力・判断力・表現力等）	各単元で扱う科学的事象について、知識や実験に基づいて論理的な説明をすることができる力。			
		探究・観智（主体的に学習に取り組む態度）	新しく出会う現象や考え方について、その考え方を使って自分なりの考えをつくり発信する力。			
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		運動器官と感覚器官	<ヒトのからだの仕組みを 行動する(反応) の観点から考える> ヒトは外界からの刺激に対して、どのようにからだを動かして行動しているか、骨格や筋肉のはたらきと関連づけて理解する。（運動器官の理解） ヒトは外界からの刺激をどのように認識し、行動につなげているか器官の仕組みとはたらきを関連づけて理解する。（感覚器官の理解、神経と脳との関係の理解）	①運動器官と感覚器官 →骨と筋肉の関係を理解する観察・目の仕組みと錯視・耳の仕組み・2点弁別テストから考察する感覚・脳の構造を理解する観察 など	・講義 ・実験	・小テスト ・観察実験レポート ・ポートフォリオ
5						
6	定期試験① 令和7年 6月2日ー6月4日 範囲）			運動器官と感覚器官・刺激と反応に関する学習内容（4,5月の学習内容）		
6		刺激と反応 生物の成長と生殖	①生物の成長と生殖 ヒトは外界からの刺激をどのように認識し、行動につなげているか器官の仕組みとはたらきを関連づけて理解する。（意識的・無意識的な反応の理解） ②生物の成長と生殖 動物などの子の残し方と生殖の概念を関連付けて理解する。 植物と動物の生殖の共通点、相違点を観察や文献に基づいて理解する。 細胞分裂と生物の成長とを関連付けて理解する	①刺激と反応 →神経の情報伝達方法 など ②生物の成長と生殖 →生物の生殖と細胞分裂・動物と被子植物の受精と発生・無性生殖と有性生殖 など	・講義 ・実験	・小テスト ・観察実験レポート ・ポートフォリオ
7						
7	定期試験② 令和7年 7月9日ー7月11日 範囲）			刺激と反応・生物の成長と生殖に関する学習内容（6,7月の学習内容）		
8	-	これまでのまとめ	仮説を実証するための実験計画を立て、試し改善するための手立てを考え、提案することができる。	これまでの学習内容のまとめ、調理実習（夏季休暇課題）	・実験 ・文献調査 ・プレゼンテーション	・プレゼンテーション ・ポートフォリオ
9		生物の成長と生殖 遺伝の規則性	遺伝に関する基本的考え方であるメンデルの実験（法則）を理解する。 遺伝子の物質としての性質や、この内容を活用した技術革新への理解を深め、最先端のバイオテクノロジーや遺伝子の発現調節について理解する。	①遺伝の規則性 →染色体と遺伝子(DNA)・メンデルの実験から考える遺伝の規則性 など	・講義 ・実験 ・文献実習	・小テスト ・観察実験レポート ・プレゼンテーション ・ポートフォリオ
10						
	定期試験③ 令和7年 10月20日ー10月22日 範囲）			生物の成長と生殖・遺伝の規則性に関する学習内容（9,10月の学習内容）		
11		生物の変遷と進化	地球環境がどのように生物の進化に影響してきたか理解する。 これまでの学習内容を根拠に、現在存在し得た可能性のある生物を創造・提案することができる。	①生物の変遷と進化 →脊椎動物の進化の道すじと生活環境 など	・講義 ・実験 ・文献実習 ・プレゼンテーション	・小テスト ・観察実験レポート ・プレゼンテーション ・ポートフォリオ
12						
12	定期試験④ 令和7年 12月10日ー12月12日 範囲）			生物の変遷と進化に関する学習内容（11,12月の学習内容）		
1		生態系	食物連鎖に代表されるある環境における生物のバランスを理解する。 生物を量的関係で捉え、その変動とつりあいが何を表すか理解する。 生態系の中の一人として一人一人がどのように日常生活を送ることが適切か自分なりの考えを持つことができる。	①生態系 →生物の生態系におけるはたらき・生物による物質の循環・自然界における生物の増減 など	・講義 ・実験	・小テスト ・観察実験レポート ・ポートフォリオ
2						
3	定期試験⑤ 令和8年 3月4日ー3月6日 範囲）			生態系に関する学習内容（1,2月の学習内容）		